

本物の知性・教養を求める世代に、成熟した大人の音楽をお届けいたします。

荒 庸子 チェロ・リサイタル

～ ショパンとシューマンの生誕200年を祝して～

ピアノ 山田武彦

2010年 3月16日(火) 19:00 開演 王子ホール(銀座)

仕事もファッションも恋愛も、その人が醸し出す品格は、実は目に見えないもの、お金では得難いものに裏付けされているのではないのでしょうか。

凛としながらも清楚であり、その優美な風貌からは想像できない重厚な調べを奏でる秀逸のチェリスト荒 庸子が、“ショパンとシューマン生誕200年”を祝すにあたり、リサイタルを開催いたします。

国内外で活躍する荒 庸子が、本年に向けてあたためてきたプログラムを日本で聴く絶好の機会です。

荒 庸子は、純クラシックの舞台から更に活動範囲を広げ、1月にはコンテンポラリーダンサー(安藤洋子:ドイツ・フランクフルト:ザ・フォーサイス・カンパニーのメンバー <http://www.yokoando.com/>)と共演。

そして、本リサイタルにおいても、華道家で“薔薇の貴公子”と称えられる大野耕生氏、佐藤進氏【榎屋 KUNUGI-YA】が、曲のイメージに合わせて装飾華を設える試みです。

また、荒 庸子オフィシャルサイト<http://www.yokoara.com/>(2月中旬公開予定)が開設されます。

ハーブと共演する“Duo Champagne”、自治体・企業と共に創る、親子で楽しめる“ハッピー・ファミリー・コンサート”、ファンとの集い、学生オーケストラとの共演、文化庁主催の“本物の舞台芸術体験事業 巡回公演”等、幅広く音楽の楽しさを伝えていきます。

音楽分野に留まらず、コラムやパーソナリティ、イメージキャラクターなど荒 庸子の魅力を多くの方々と分かち合う機会がありましたら、存分に力量を発揮する逸材です。

リサイタル招待状を別添しましたので、ご多忙のこととは存じますが、是非この機会に荒 庸子の世界に触れて頂けましたら幸甚でございます。リサイタルご出席の際は、恐れ入りますが添付 FAX 返信用紙にてお知らせください。

♪～ 荒 庸子から、本リサイタルについてメッセージ ～♪

ピアニストであったショパンに、チェリストの親しい友人がいたことから、チェロソナタが誕生しました。正に人との繋がりが生んだ、後世へのプレゼントと言えるでしょう。

一方、人付き合いが苦手だったシューマンを支え続けたのは、妻であり、ピアニストであったクララ・シューマンです。映画にもなりましたね。シューマンは若くして他界しましたが、愛溢れる家族と過ごした時間は美しい調べとなり、病いと闘った苦悩は、詩人が文字に著すように、シューマンは五線譜に表現しました。

芳醇なワインは熟成するのに時間がかかります。芸術にも同じことが言えるでしょう。

200年に亘り多くの演奏家によって継がれてきた楽曲には、時が育んだ『本物』の荘厳さがあります。曲を知らなくともその『気』の中に身を置いて頂くだけで十分です。まるで寺院や教会へ行くと、何かに見守られているような不思議な感覚…。それぞれのお心の琴線に触れることを願って、私たち音楽家は大作曲家の時を紡ぎ続ける使命を感じながら演奏しております。

人と人との繋がりが希薄になっている昨今を危惧します。あの出会いがあったからこそ、今自分はここにいる…。私の奏でる調べが皆様との新たな出会いになりますれば、この上ない幸せでございます。

—荒庸子リサイタル お問い合わせ—

マネジメント：(株)ヒラサ・オフィス 電話：03-5429-2399

リリース・パンフレットをPDFでお入用の方は office@yokoara.com へお問い合わせください。